

『その他の疾患と歯周疾患との関連性、及び日常臨床で心がけるべきこと』

急速な少子高齢化により、高齢者を治療する機会が一段と増加している。そのため、我々は、様々な疾患、服用薬、アレルギーなど、多種多様な全身的な因子に対応する必要がある。特に歯周疾患は、歯科領域の疾患の中でも高頻度で発症する疾患であり、様々な方面から全身との関連性が指摘されている。

2018年に歯周疾患の新しい分類が19年ぶりに発表され、初めて全身疾患の影響を考慮した診断を行うシステムへと変更された。現状は、糖尿病だけが歯周病診断に考慮されているが、様々な疫学調査により、多くの疾患との関連性があると考えられる。しかし、歯周疾患と、それらの全身疾患との関連メカニズムに関しては、まだまだ不明な点も多い。本プレゼンテーションでは、糖尿病、心疾患以外の疾患で、歯周疾患に関連する疾患についてのご紹介、及び対応策などについて、日常臨床を意識した形で、ご紹介したい。